



ハイリフト仕様機・ショートリーチ仕様機

アタッチメントを御利用になる際は必要な資格を携って運転手様で行って下さい

要
技能講習
修了証

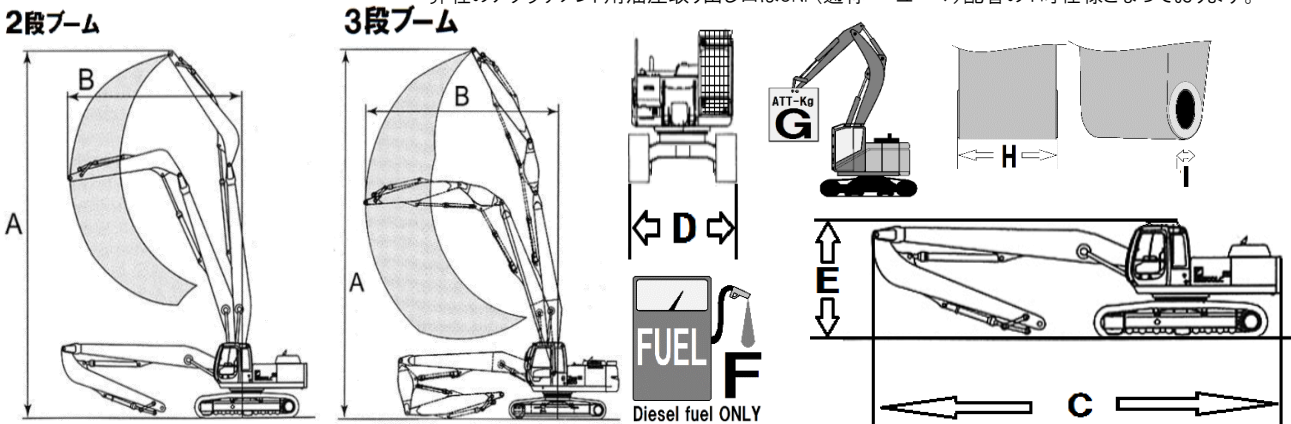
20tクラスハイリフト

使用される燃料は必ずJIS規格適合の軽油をご利用ください。指定外燃料をご利用の場合は別途修繕費を請求させていただきます。
アドブルー採用機種に関しましては必ずJIS規格適合のアドブルーをご利用ください。DPD装着機は表示が点灯しましたら速やかに処置を行ってください。

メーカー	型 式	排ガス規制	運転質量	最大作業高A	最大作業半径B	格納時全長C	格納時全幅D
日立建機	ZX210LCK-3 2段アーム仕様機	3次排ガス規制	25,400kg	13,800mm	7,380mm	11,000mm	2,990mm
日立建機	ZX210LCK-3 3段アーム仕様機	3次排ガス規制	26,000kg	13,100mm	7,440mm	9,450mm	2,990mm
日立建機	ZX210LCK-5 3段アーム仕様機	4次排ガス規制	25,400kg	13,100mm	7,440mm	9,570mm	2,990mm

型 式	格納時全高E	燃料タンク F	作動油タンク	油圧取り出し口	装着可能アタッチメント重量G	アーム先端幅 H ピン径 I
ZX210LCK-3 2段アーム仕様機	3,010mm	400L	200L	1in UNF	2,500kg	305mm80φ
ZX210LCK-3 3段アーム仕様機	3,010mm	400L	200L	1in UNF	2,500kg	305mm80φ
ZX210LCK-5 3段アーム仕様機	3,080mm	400L	240L	1in UNF	2,500kg	305mm80φ

弊社のアタッチメント用油圧取り出し口はUNF(通称・ニューマ)配管の1吋仕様となっております。



ショートリーチ仕様機

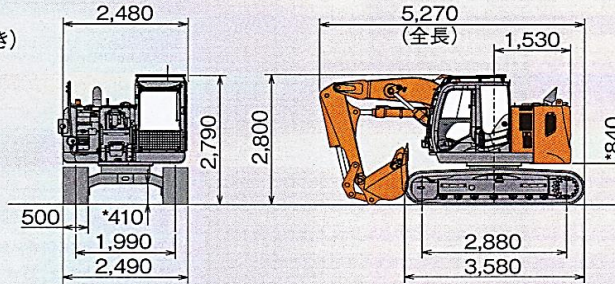
使用される燃料は必ずJIS規格適合の軽油をご利用ください。指定外燃料をご利用の場合は別途修繕費を請求させていただきます。
アドブルー採用機種に関しましては必ずJIS規格適合のアドブルーをご利用ください。DPD装着機は表示が点灯しましたら速やかに処置を行ってください。

■狭い現場に大きなアタッチメント



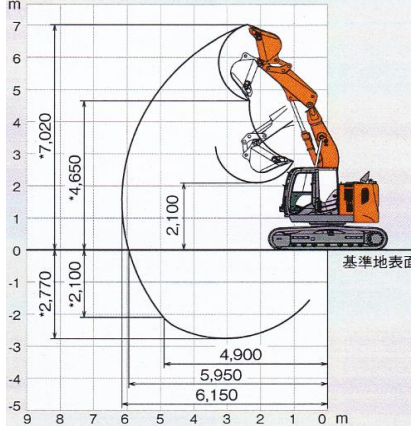
0.7クラスのアタッチメントが装着出来ます

低頭キャブ
(バケット付き)



イラストには、標準装備品に含まれないバケットが装着されています。

- 取扱い注意書は当社のホームページより印刷する事が出来ます。ぜひご利用ください。
- 当諸元はメーカーによる改良により予告なく変更する場合がございます。



型 式	ZX135USK-5B
キャブ	低頭キャブ *2
運転質量 (アタッチメント質量除く)	kg 14,900
運転質量 (0.65 m ³ バケット付き時)	kg 15,400
アタッチメント装着可能質量	kg 2,600
標準バケット容量 新JIS	m ³ 0.65 *1
標準シュー幅	mm 500 グローサシュー
性能	
平均接地圧	kPa (kgf/cm ²) 55 (0.56)
旋回速度	min ⁻¹ (rpm) 13.7 (13.7)
走行速度 高/低	km/h 5.5 / 3.3
登坂能力	% (度) 70 (35)
エンジン	
名称	いすゞ AM-4JJ1X
形式	水冷式 4気筒直噴射式 電子制御式
定格出力	kW/min ⁻¹ (PS/rpm) 73.4 / 2,000 (99.8 / 2,000)
総行程容積	L (cc) 2,999 (2,999)
油圧装置	
油圧ポンプ形式	可変容量形ピストン式 x2 歯車式 x1
主リリーフ弁セット圧	MPa (kgf/cm ²) 34.3 (350)
旋回油圧モータ形式	定容量形ピストン式 x1
走行油圧モータ形式	可変容量形ピストン式 x2
駐車ブレーキ形式	機械式
油類の容量	
燃料タンク容量 (軽油)	L 220
作動油タンク容量	L 全量 125 (タンク基準レベル 60)
エンジンオイル容量	L 17
特定特殊自動車排出ガス届出型式	
特定特殊自動車の車名および型式	日立 DAEA

(注) ・単位は国際単位系 (SI) による単位表示です。() 内は、従来の単位表示を参考値として併記したものです。
・鉄骨切断具もしくはコンクリート圧砕具を装着した場合は、前面上下ガードを装着する必要があります。
・最小フロント半径時にアタッチメント (バケット) とキャブが干渉する場合があります。
※1: 軽掘削 (軟弱土質掘削・積込み) 専用です。
※2: 低頭キャブは労働安全衛生規則の「ヘッドガード構造規格」に適合していないため、岩石やコンクリートガラなどの落下により、労働者に危険が生じる場所では使用できません。本機を使用する現場では、コンクリートガラなどの落下の危険性を排除する措置をとる必要があります。

MEMO